昭和大学病院

クオリティインディケーター（QI）成果報告
〔超音波センター〕

指標名

下肢静脈超音波の予約枠増枠と検査件数の増加

目標・ゴール

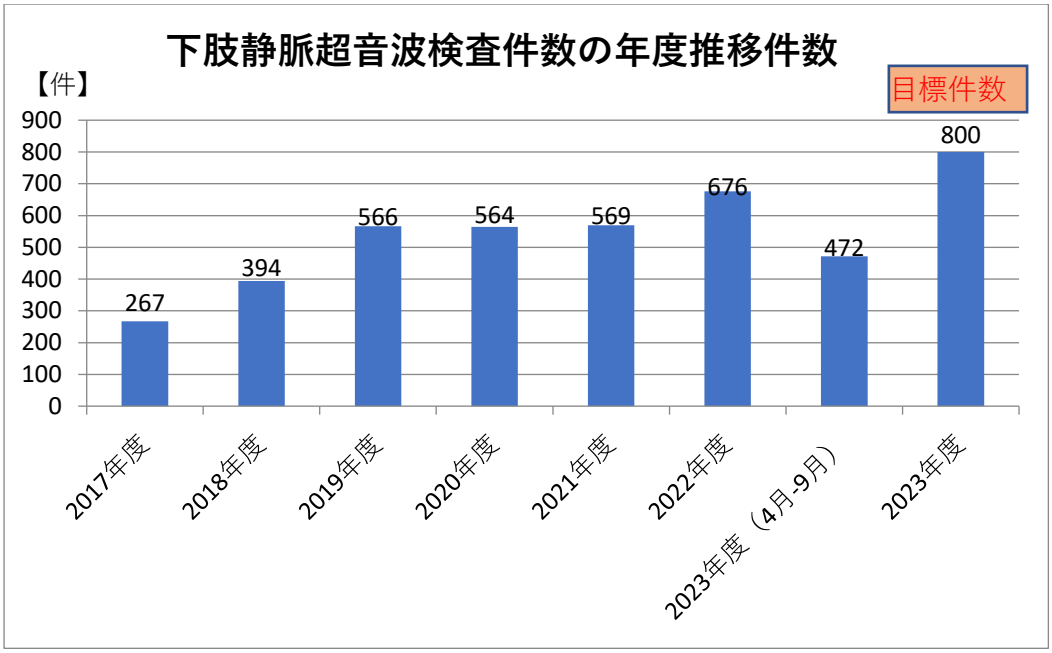
下肢静脈超音波の検査可能な技師を増やし、予約枠の増枠と緊急オーダー対応にて、検査件数増加と臨床への貢献度を高める。

目標・ゴール達成による効果

足の血管（深部静脈）に血栓ができると、それが肺に流れて詰まってしまい呼吸困難や突然死をきたすことがある。下肢静脈超音波検査は血栓を非侵襲的に検出できるため、診断・治療に役立ち今後も需要が高まると想定される。

目標・ゴールに対する成果の状況

＊2017 年より予約枠を設定しオープンした。



［成果］

昨年度の検査件数は 676 件であり、一昨年度より 107 件の増加が見られる。また 2023 年度上半期の検査件数は、すでに昨年度の約 70%に到達しており、今年度の検査件数も目標に到達出来ると予想される。

目標・ゴール達成度

☐S　：大幅に目標を上回った
☐A⁺：目標を多少上回って達成
☑A：目標を達成
☐B⁺：目標を少し下回った
☐B　：目標を下回った
☐C　：目標を大幅に下回った
☐ー　：外的要因により継続困難となった。

目標・ゴールの課題・改善策

今後も依頼件数は増加すると予想され、2023 年度総件数の目標を 800 件と設定し、技師教育と臨床への貢献度を高めていく予定である。

将来的には年間 1,000 件の検査件数を目標とし、継続して技師の育成を行う。